

ヨセフ

聖徒たちと歩む聖書 ~25~
ヨセフ その3

「罪の赦しと 主にある和解」

創世記42~45章 兄たちへの試練と悔い改め

【今日のアウトライン】

- 0. ふりかえり
- I. エジプトに下る兄たち
- II. 再びのエジプト
- III. ユダのとりなし
- IV. 和解
- V. まとめと適用
 - 罪の赦しと
 - 主にある和解への道



0. ふりかえり



神は、
選びに応えたアブラハムを祝福され、
土地の授与と 子孫の繁栄を告げ、
その子孫から、全人類を救いに導く
メシアが誕生することを約束された。

この「アブラハム契約」は、
アブラハムから、イサク、
そして、ヤコブへと継承された。



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

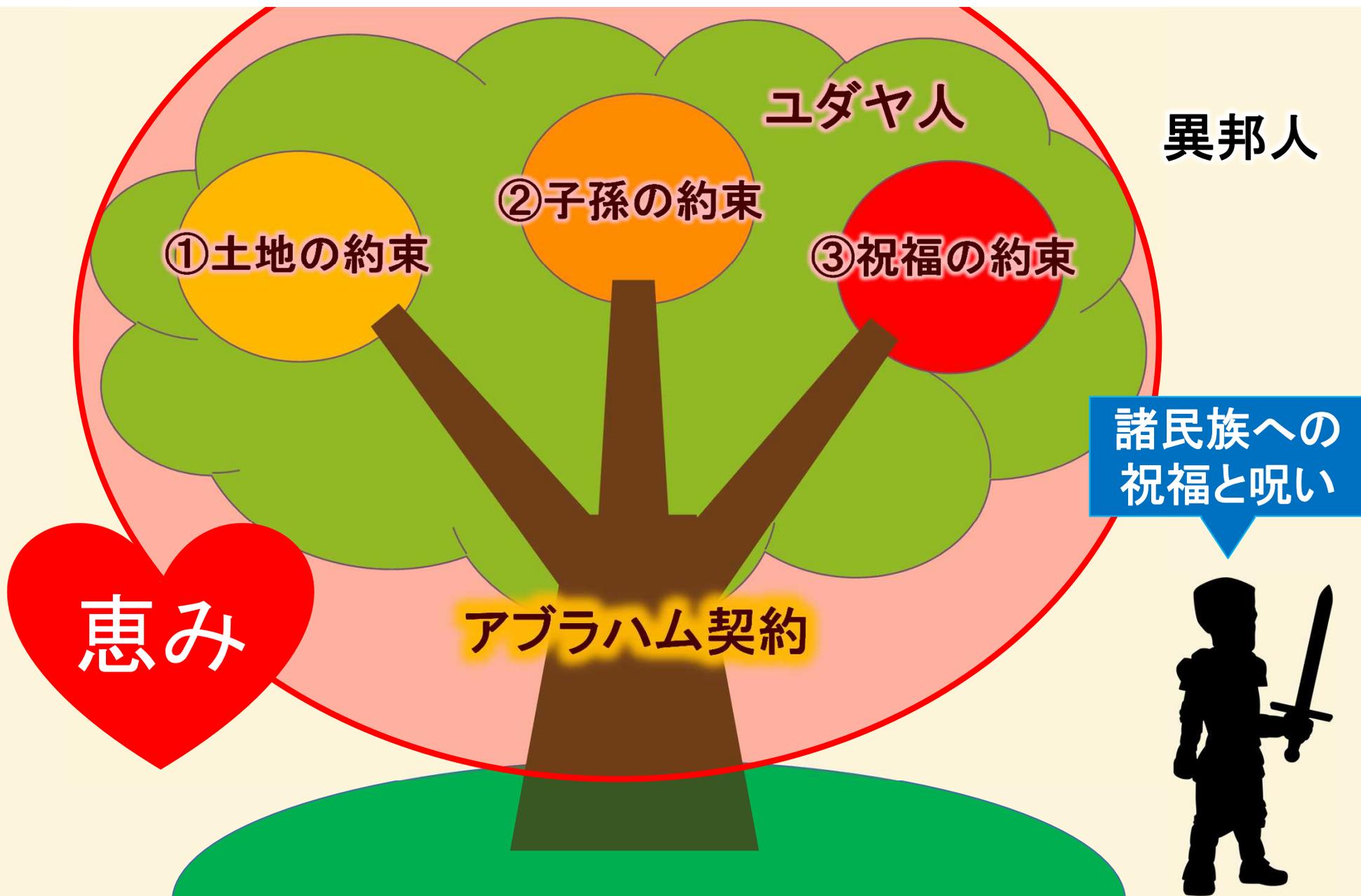
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

ヨセフのエジプトの日々も、
アブラハム契約のゆえに守られる!!



【アブラハム契約】



【トルドット・時代区分】

①2:4～4:26	「これは天と地が創造された時の <u>経緯</u> である」
②5:1～6:8	「これはアダムの <u>歴史</u> の記録である」
③6:9～	「これはノアの <u>歴史</u> である」
④10:1～	「これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの <u>歴史</u> である」
⑤11:10～	「これはセムの <u>歴史</u> である」
⑥11:27～	「これはテラの <u>歴史</u> である」 アブラハム編
⑦25:12～18	「これはイシュマエルの <u>歴史</u> である」
⑧25:19～35:29	「これはイサクの <u>歴史</u> である」 ヤコブ編
⑨36:1～8	「これはエサウ、すなわちエドムの <u>歴史</u> である」
⑩36:9～37:1	「これがセイルの産地にいたエドム人の先祖エサウの系図である。」
⑪37:2～50:26	「これはヤコブの <u>歴史</u> である」 ヨセフ編

★レアの子★

- ①ルベン ...『息子を見よ』
- ②シメオン ...『聞く』
- ③レビ ...『結ぶ・近づく』
- ④ユダ ...『ほめたたえよ』

メシア

★僕ジルパによるレアの子★

- ⑦ガド ...『幸運』
- ⑧アシュル ...『幸せ』

★レアの子★

- ⑨イッサカル ...『報酬』
- ⑩ゼブルン ...『ともに住む』

★僕ビルハによるラケルの子★

- ⑤ダン ...『裁く』
- ⑥ナフタリ ...『争う』

★ラケルの子★

- ⑪ヨセフ ...『加える』 (取り去る)

長子権

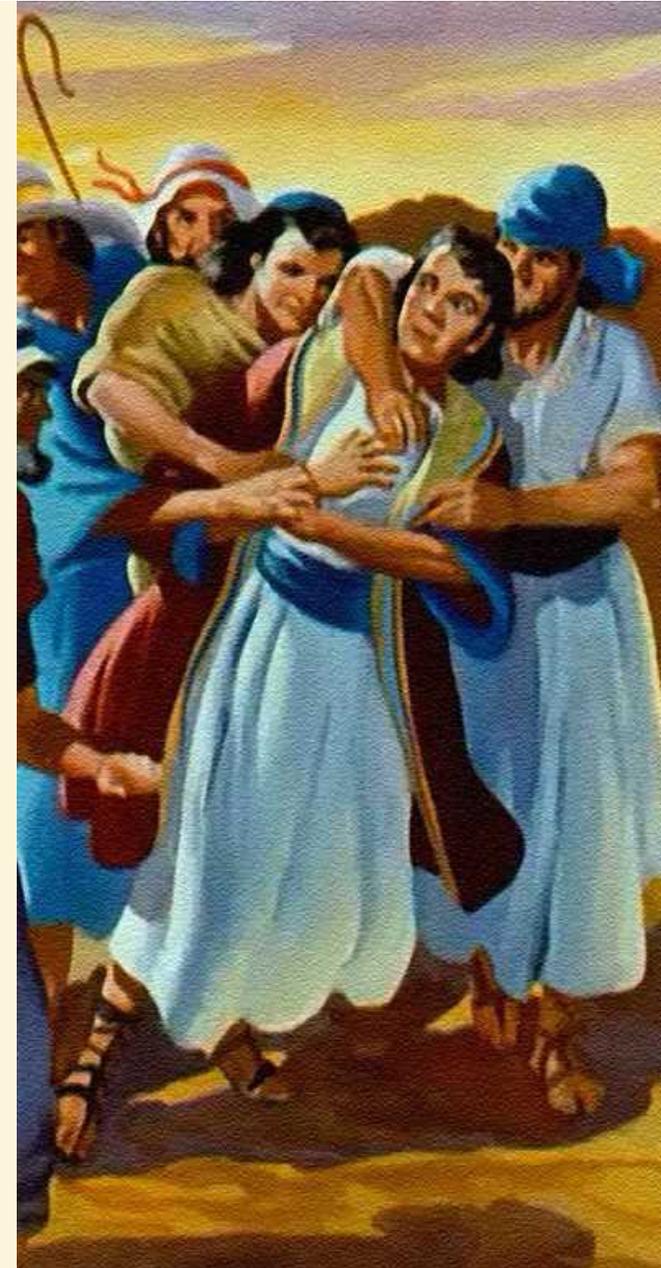
- ⑫ベニヤミン
...『私の右手の子』
(苦しみの子)

イスラエルの
12人の息子たち



【売られたヨセフ、墮落したユダ】 創世記37～38章

- ヤコブは、愛妻ラケルの姿形見、11番目のヨセフを長子扱いしていた。
- ヨセフは、両親と兄弟が自分にひれ伏す夢を見た。
- 嫉妬に燃えた兄たちは、ヨセフに殺意まで抱き、ユダの提案で、隊商に売り渡してしまった。
- 愛息を獣に殺されたと告げられ、嘆くヤコブ。
- ユダは墮落し、カナン人を妻とする。
神に裁かれて死んだ息子の嫁と関係を持ち、争いあって二人の子が生まれてきた。



【エジプトでのヨセフ】 創38～41章

- ヨセフは、17歳で侍従長ポティファルの奴隷となった。神に守られ、誠実に働き、主人の信頼を得た。主人の妻の策略で強姦未遂に問われ、牢獄へ。
- 獄中でも、神に守られ、最悪の状況での最善を得た。夢を解き明かした囚人が、パロの側近として復職。
- 2年後、パロの前に引き出され、夢を解き明かす。7年の大豊作の後に来る、7年の大飢饉を告げた。
- パロによって、首相の座に就き、大飢饉対策を一手に任せられた。奴隷となって13年、30歳の時だった。



【神の時の背景】 歴史的文脈

■ ヒクソス王朝 (BC1750～1550年)

エジプトの第15～17王朝

■ 当時のエジプトは、アフリカ本来のハム系ではなく、
東方のセム系民族ヒクソスが治める王朝だった。

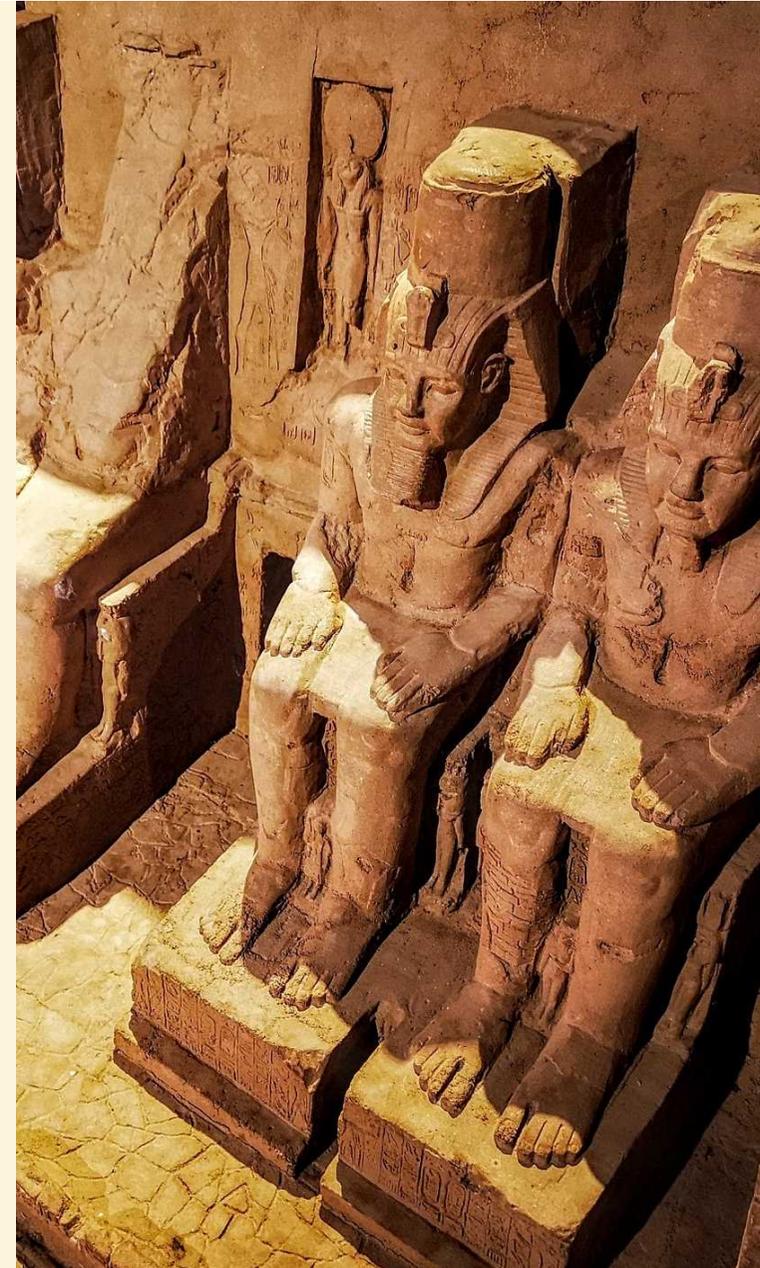
⇒ 移民として定着し、力を持った？

後の第18王朝(ハム系)には、侵略者と呼ばれた。

■ ヘブル人であるヨセフは、セム系。

⇒ 当時のパロと同系。登用の重要な要素

■ 有能なら外国人をも登用する開かれた王朝だった。



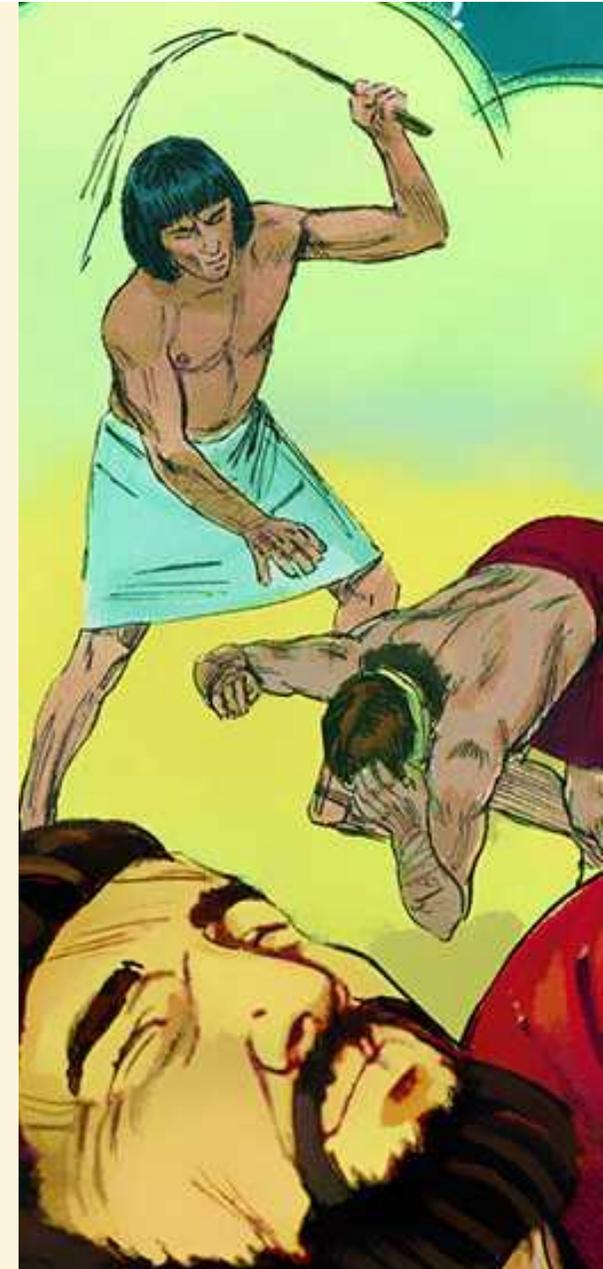
【神の時の背景】 預言の成就 創15:13～14

「あなた(アブラハム)の子孫は、自分たちのものではない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。しかし、彼らの仕えるその国民を、わたしがさばき、その後、彼らは多くの財産を持って、そこから出て来るようになる。」

Q:ヨセフの物語の背後にある神の計画とは？

- 墮落したカナンに同化される危機にあった イスラエルを隔離し、一つの民族として育む。

およそ150年の時を経て、動き出した神の計画!!



I. エジプトに降る兄たち

創世記42章



【大飢饉の中でのヤコブの決断】 創42:1~2

■ ついに大飢饉が始まり、2年目に突入。

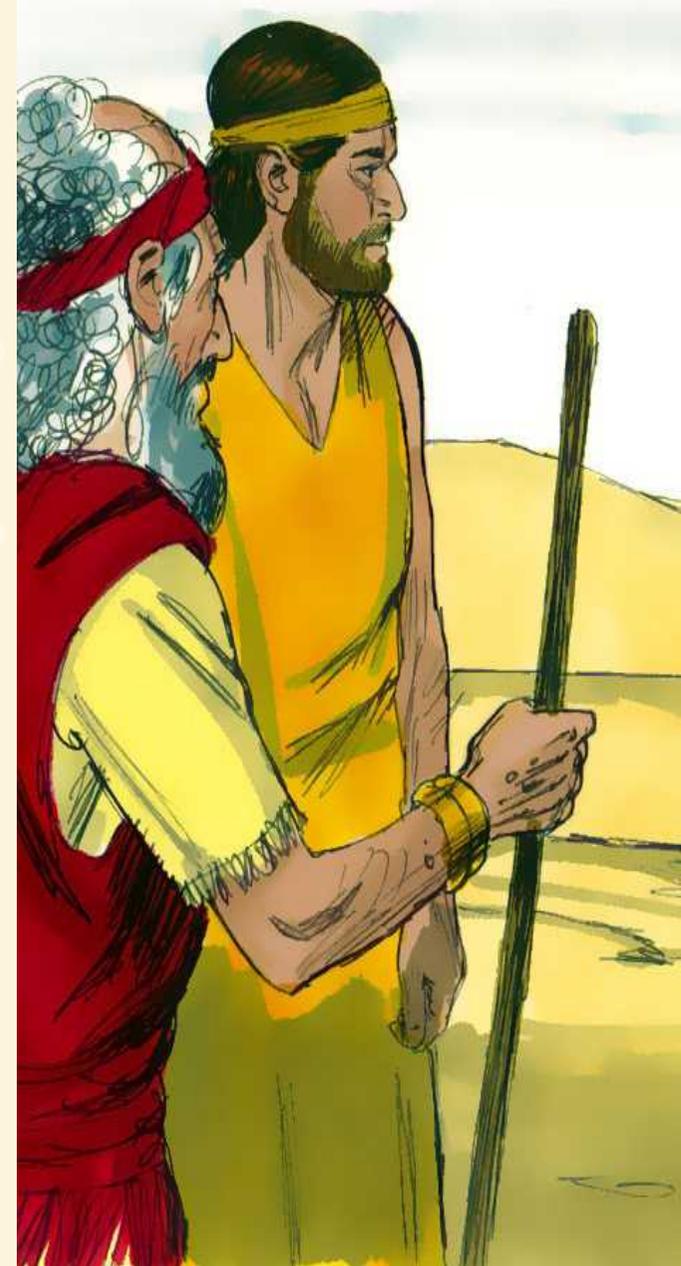
カナンにいた兄弟たちにも影響が!!

エジプトの噂を聞いたヤコブは、息子たちに告げた。

「あなたがたは、なぜ互いに顔を見合っているのか。
エジプトへ下って行き、そこから私たちのために
穀物を買って来なさい。」

■ 災いを恐れたヤコブは、末弟のベニヤミンは、
手元に残しておいた。

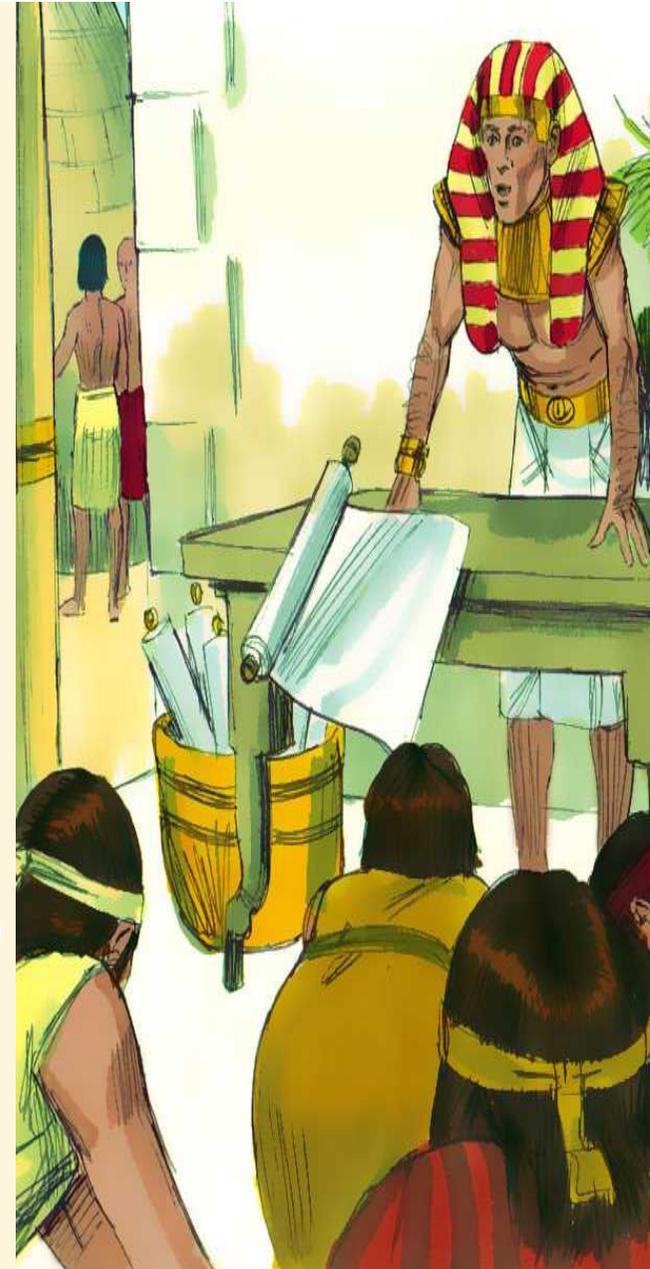
⇒ 獣に引き裂かれた(!?)ヨセフの二の舞に
ならないように。



【ひれ伏す兄たち】 創42:6～7

ヨセフの兄弟たちは来て、顔を地につけて彼を伏し拝んだ。ヨセフは兄弟たちを見て、それとわかったが、彼らに対して見知らぬ者のようにふるまい、荒々しいことばで彼らに言った。「あなたがたは、どこから来たのか。」

- ヨセフは、兄たちが来ることを見越して、部下に連絡するよう言いつけておいたのだろう。
- 何も知らずひれ伏す兄たちの姿は、兄たちの麦の束がひれ伏した、夢の成就。



【兄たちとの問答】 創42:9～

■ヨセフは、夢を思い出し、兄たちに言った。「あなたがたは間者だ。この国のすきをうかがいに来たのだろう。」

■スパイの疑いをかけられ、兄たちは答えた。「しもべどもは十二人の兄弟で、カナンの地にいるひとりの人の子でございます。末の弟は今、父といっしょにいますが、もうひとりはいなくなりました。」

■果たして、あれから兄たちは変わったのか？
ヨセフのテストが行われていく。

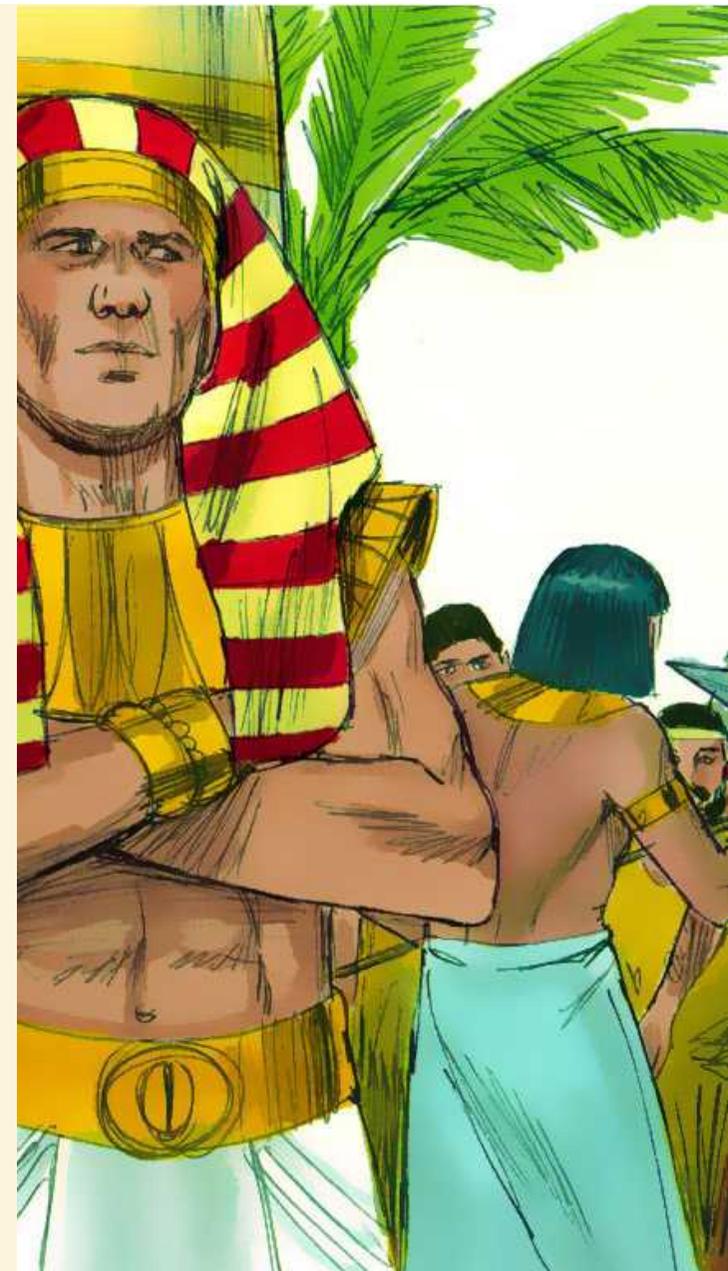


【兄たちへの要求①】 創42:14～

■ヨセフは、兄たちにスパイの容疑をかけ、話が本当なら、弟を連れてくるよう告げた。

「42:16 あなたがたのうちのひとりをやって、弟を連れて来なさい。それまであなたがたを監禁しておく。あなたがたに誠実があるかどうか、あなたがたの言ったことをためすためだ。」

■まず、ヨセフは、兄たちを三日間拘束した。

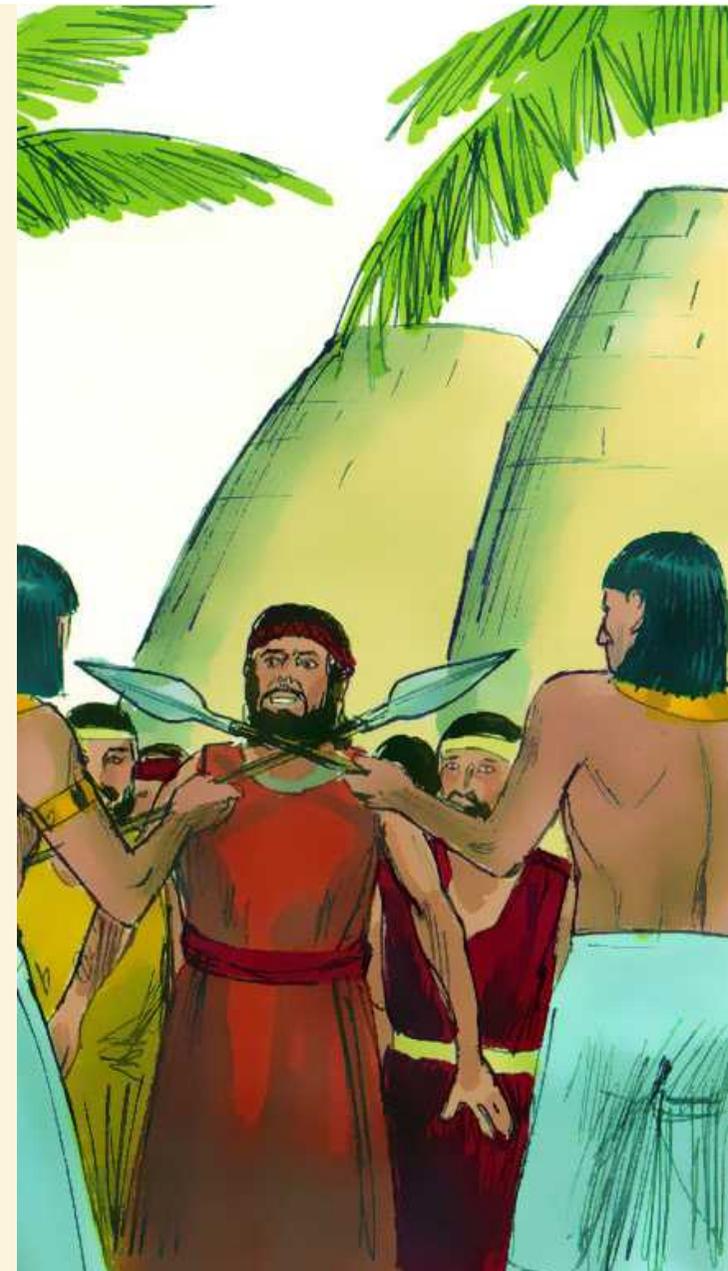


【兄たちへの要求②】 創42:14～

■三日目にヨセフは告げた。

「次のようにして、生きよ。私も神を恐れる者だから。もし、あなたがたが正直者なら、あなたがたの兄弟のひとりを監禁所に監禁しておいて、あなたがたは飢えている家族に穀物を持って行くがよい。そして、あなたがたの末の弟を私のところに連れて来なさい。」

■ヨセフは、次兄シメオンを捕らえ、人質とした。長兄ルベンが父に背いて以降、彼が兄弟のリーダーとなっていた。



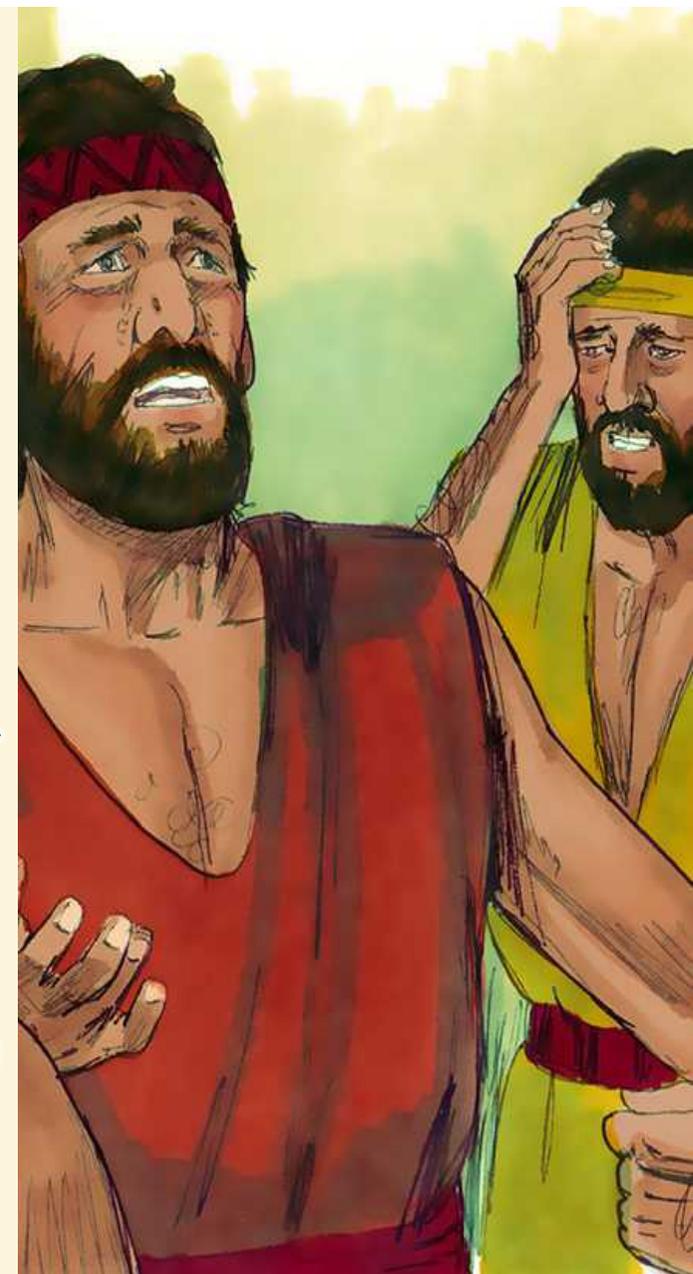
【兄たちの嘆き】 創42:21～

■ 兄たちは、互いに嘆いて言った。

「ああ、われわれは弟のことで罰を受けているのだ。あれがわれわれにあわれみを請うたとき、彼の心の苦しみを見ながら、われわれは聞き入れなかった。それでわれわれはこんな苦しみに会っているのだ。」

■ あの時ヨセフを救おうとした長兄ルベンが言った。「私はあの子に罪を犯すなと言ったではないか。それなのにあなたがたは聞き入れなかった。だから今、彼の血の報いを受けるのだ。」

■ ヨセフとの間には通訳者がおり、兄たちは、会話の内容を聞かれているとは思ってなかった。



【ヨセフの涙】 創42:24～26

ヨセフは彼らから離れて、泣いた。それから彼らのところに帰って来て、彼らに語った。そして彼らの中からシメオンをとって、彼らの目の前で彼を縛った。

ヨセフは、彼らの袋に穀物を満たし、彼らの銀をめいめいの袋に返し、また道中の食糧を彼らに与えるように命じた。それで、人々はそのとおりにした。彼らは穀物を自分たちのろばに背負わせて、そこを去った。

- 帰路、兄たちは、袋の中の銀を見つけ、神は何をなされたのかと、恐れおののいた。



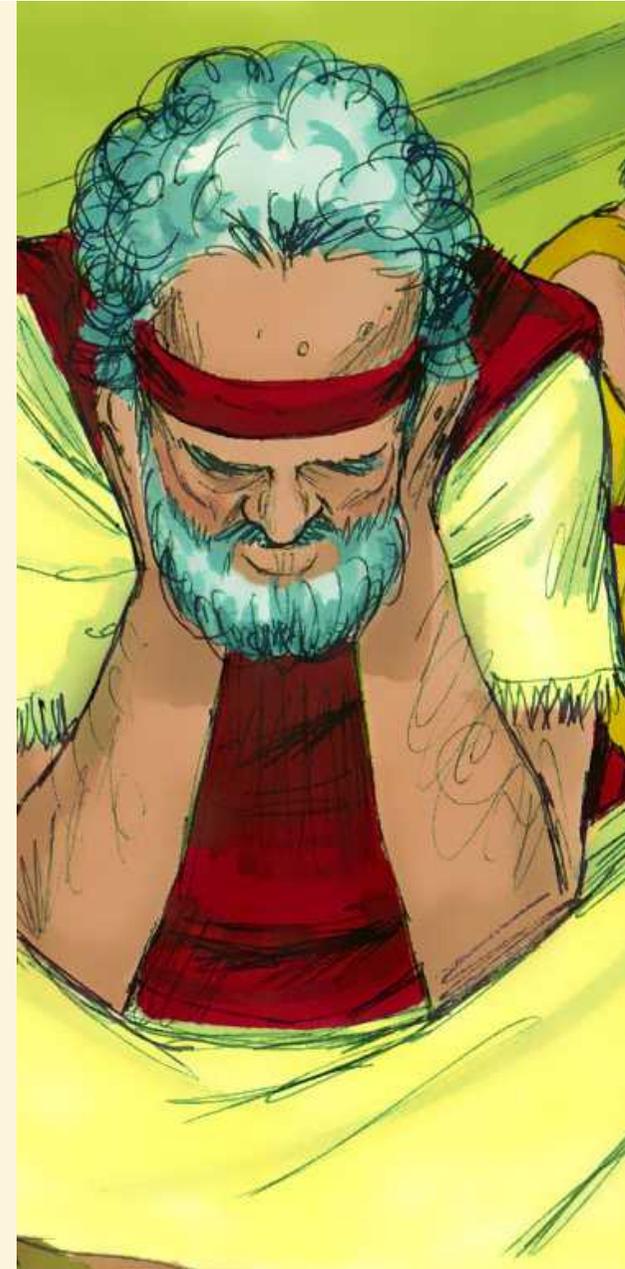
【父ヤコブの嘆き】 創42:35～

■ 兄たちの報告を聞いたヤコブは嘆き悲しんだ。

■ 長兄ルベンは、ベニヤミンを連れ帰らなかったら、二人の息子を殺してもいいと覚悟を示すが、ヤコブの心は動かない。

「私の子は、あなたがたといっしょには行かせない。彼の兄は死に、彼だけが残っているのだから。あなたがたの行く道中で、もし彼にわざわいがふりかければ、あなたがたは、このしらが頭の私を、悲しみながらよみに下らせることになるのだ。」

■ そのまま、しばしの時が過ぎた。



Ⅱ. 再びのエジプト 創世記43章



【ユダの覚悟】 創 43:1～

■ 飢饉は激しさを増し、穀物も食べつくした。
四男ユダは、ベニヤミンを連れて行かなければ、
穀物は買えないのだと父をさとした。

■ ヤコブは、なぜ弟がいると言ったのかと責めたが、
兄たちに、こんな結末など想像できたはずもない。
このままなら、皆倒れてしまう。ユダは覚悟を決めた。
「あの子を私といっしょにやらせてください。私自身が彼の
保証人となります。万一、彼をあなたのもとに連れ戻さず、
あなたの前に彼を立たせなかったら、私は一生あなたに
対して罪ある者となります。」

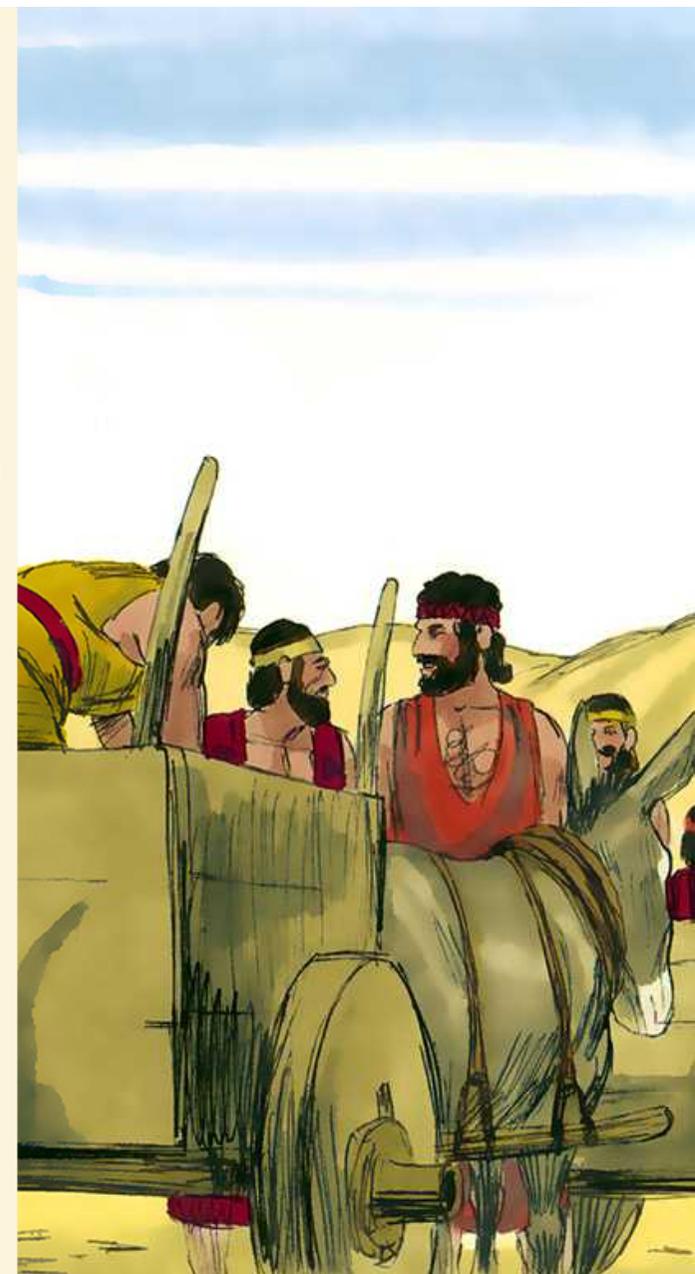
■ ユダの覚悟に、ヤコブの心も動いた。



【立ち直ったヤコブ】 創43:11

「私も、失うときには、うしなうのだ」

- 父ヤコブは、神に与えられたイスラエルの名にふさわしく、立ち直った。ヤコブは神にゆだねた。
- ヤコブは、兄たちに、手元に残っていた土地の産物を手みやげに、高騰した物価に合わせて前回の二倍の銀を持たせ、袋に入っていた銀も返すよう促した。
- こうして、兄たちは再びエジプトに下った。



【ヨセフの対応】 創43:16

■ 兄たちを迎えたヨセフは、ベニヤミンの姿を確認すると、すぐに食事を用意させ、自分の家に彼らを迎え入れた。

■ 兄たちは、あの返された銀のゆえに陥れられ、奴隷にされるのでは、と恐れた。ヨセフの側近に銀の返還を申し出たところ、彼はこう答えた。

「安心なさい。恐れることはありません。あなたがたの神、あなたがたの父の神が、あなたがたのために袋の中に宝を入れてくださったのに違いありません。あなたがたの銀は私が受け取りました。」

■ ヨセフの側近は、唯一の神を信じていたと分かる。

ヨセフは、唯一の神を証して、生きていた。

■ 兄たちは、贈り物を準備し、ヨセフの前にひれ伏した。



【ベニヤミンとの再会】 創43:27～31

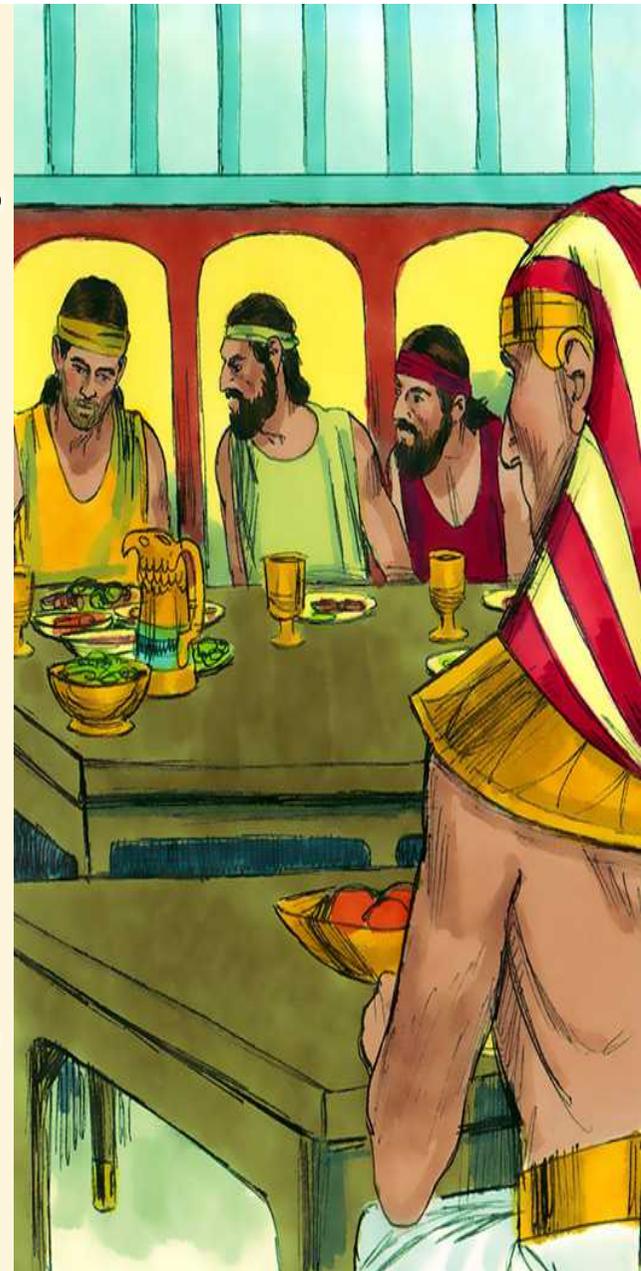
- 父ヤコブの安否を問うヨセフの前で、兄たちは、ひれ伏した。ヨセフの見た夢の成就だった。
- ヨセフの目の前に、母を同じくする愛する弟ベニヤミンが立っていた。20年ぶりの再会だった。

ヨセフは弟なつかしさに胸が熱くなり、泣きたくなって、急いで奥の部屋に入って行って、そこで泣いた。やがて、彼は顔を洗って出て来た。そして自分を制して、「食事を出せ」と言いつけた。



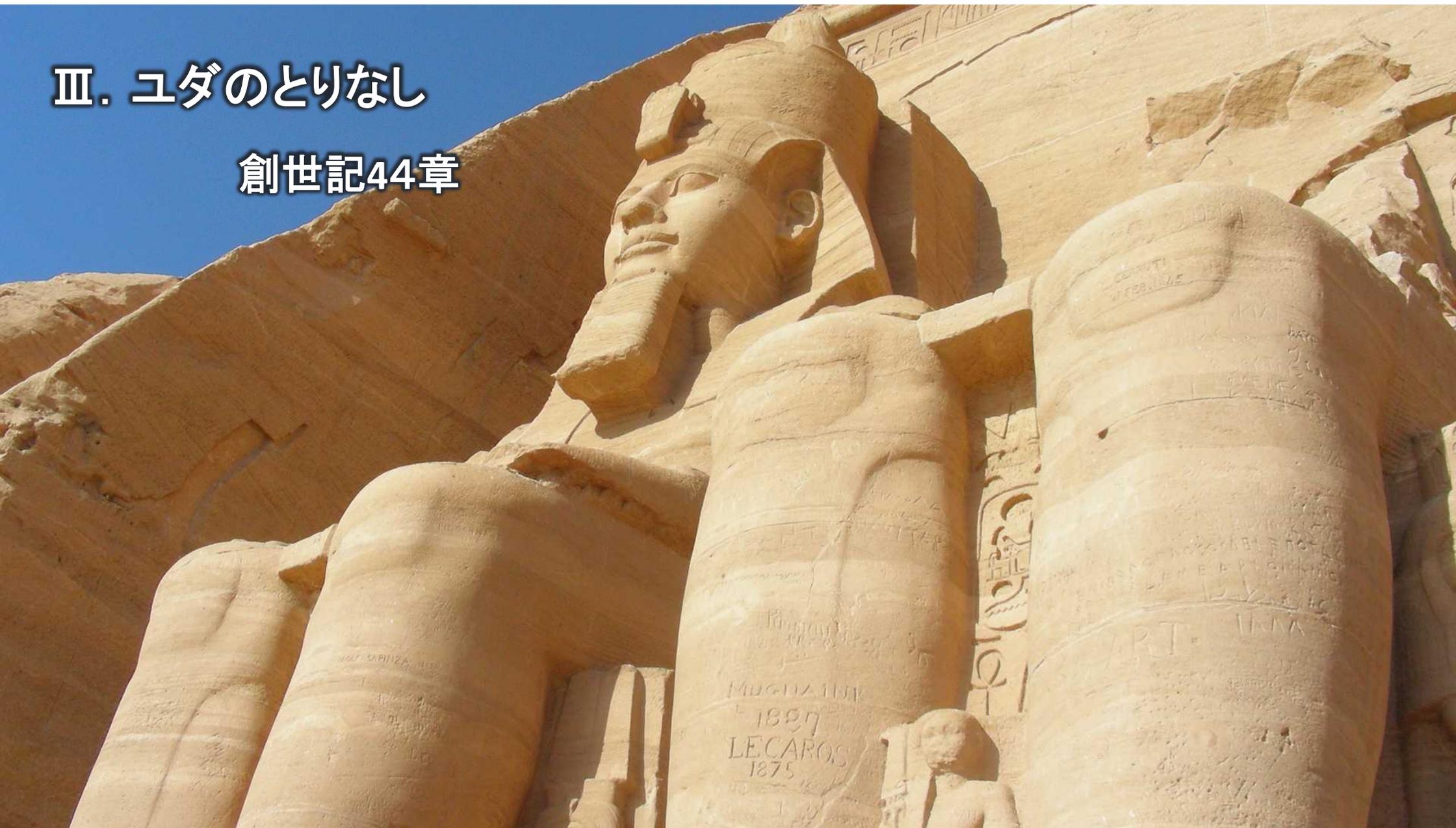
【兄たちとの食卓】 創43:32

- エジプト人は、ヘブル人と食事を共にしなかった。本当はヘブル人であるヨセフと、兄たちと、他のエジプト人と別々に食卓が設けられた。
- 兄たちは、年齢順に並ばされたことに驚いた。
- ヨセフは、ベニヤミンに5倍の分け前を与えた。かつてヨセフを嫉妬して奴隷に売った兄たちを試したのだ。
- 兄たちは、食事を満喫し、すっかり安心していた。



Ⅲ. ユダのとりなし

創世記44章



【最終試験】 創44:1

■ヨセフは、側近に命じ、兄たちの袋を食料で満たさせ、支払った銀をも入れさせた。そして、ベニヤミンの袋には、一つの銀の盃をしのばせた。

■意気揚々と出立した兄たちを、ヨセフの側近が追いかけてきた。ヨセフの大切な銀の盃を盗んだと盗人の容疑をかけられ、兄たちは断言した。「それが見つかった者は殺してください。私たちもまた、ご主人の奴隷となりましょう。」

■側近は、年長の者から順に調べ始めた。最後にベニヤミンの袋から銀の盃が出てきた。兄たちは、着物を引き裂き、嘆いた。



【ヨセフの前の兄たち】 創44:14～

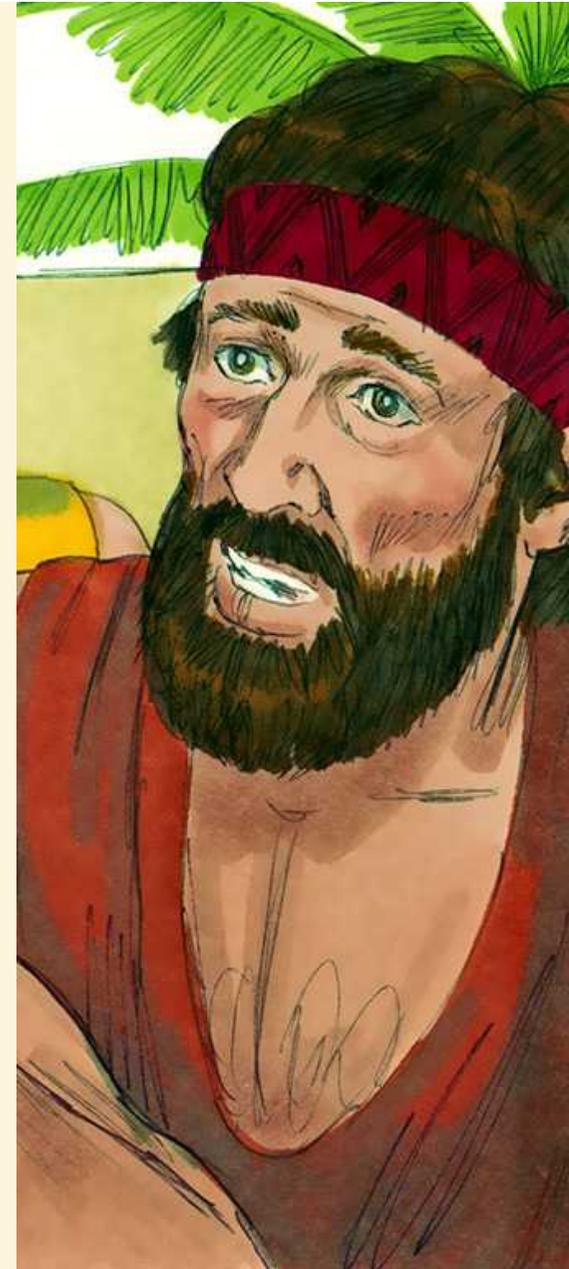
- ヨセフは、まじないで言い当てたと吹聴した。盗まれた盃の価値を重くするための方便だった。銀の杯は、エジプトでは、まじないの道具だった。
- 四男ユダが答えた。一切弁解はしなかった。兄弟全員で、ヨセフの奴隷となることを申し出た。
- しかし、ヨセフは、それを拒んで言った。「そんなことはとんでもないことだ。杯を持っているのを見つけた者だけが、私の奴隷となればよい。ほかのあなたがたは安心して父のもとへ帰るがよい。」
- あの時、嫉妬からヨセフを奴隷に売った兄たちは、ベニヤミンを犠牲にして、助かろうとするだろうか？



【とりなしを始めるユダ】 創44:18

- ユダは、ヨセフに近づいて、とりなしを始めた。エジプトの権威を前にして、命がけの行為だった。
- ユダは、パロ同然の権威に従ったのだと訴えた。命じられた通りに、父ヤコブに告げ、拒む父を説得して、末弟のベニヤミンを連れてきたのだと。

■ユダは、父ヤコブの言葉をそのままヨセフに告げた。『お前たちも知っているように、私の妻はふたりの子を産んだ。そしてひとりはおれのところから出て行ったきりだ。確かに裂き殺されてしまったのだ、と私は言った。そして、それ以来、今まで私は彼を見ない。あなたがたがこの子をも私から取ってしまって、この子にわざわざ起こるなら、お前たちは、しらが頭の私を、苦しみながらよみに下らせることになるのだ。』

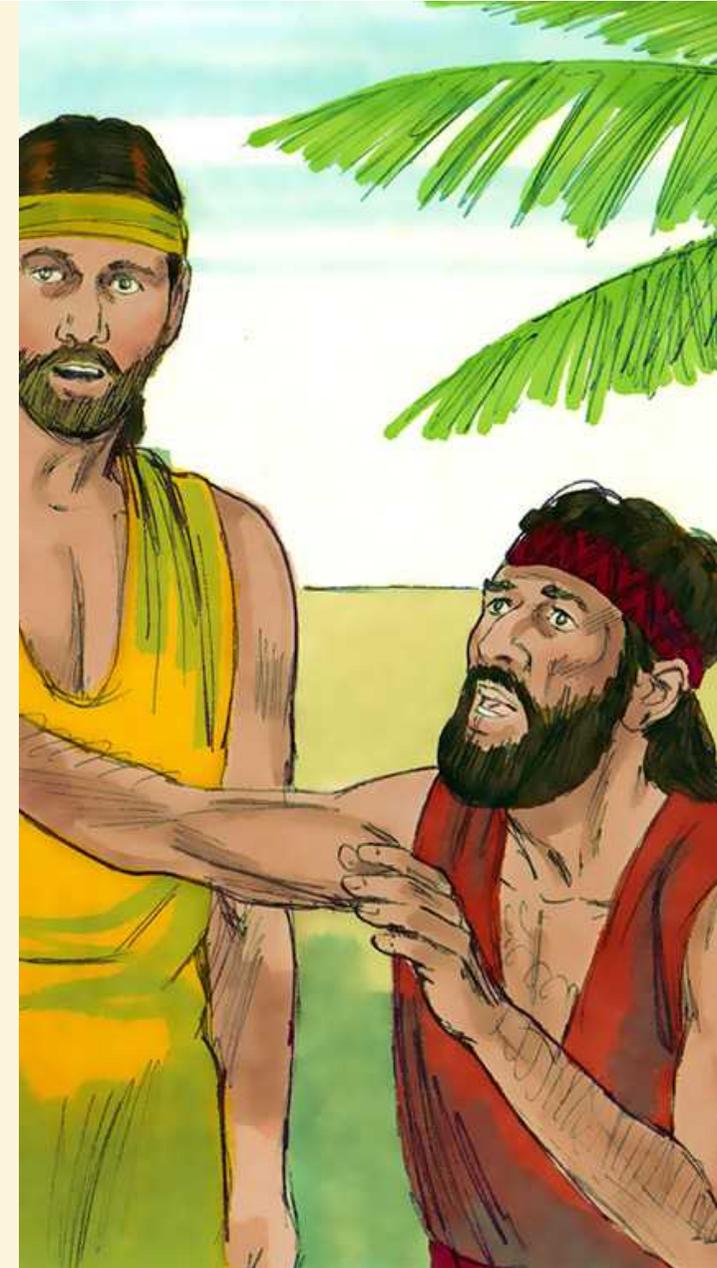


【ユダのとりなし】 創44:30～

■ユダは、ただ、父ヤコブを思って訴えた。

私が今、あなたのしもべである私の父のもとへ帰ったとき、あの子が私たちといっしょにいなかったら、父のいのちは彼のいのちにかかっているのですから、あの子がいないのを見たら、父は死んでしまうでしょう。

そして、しもべどもが、あなたのしもべであるしらが頭の私たちの父を、悲しみながら、よみに下らせることになります。



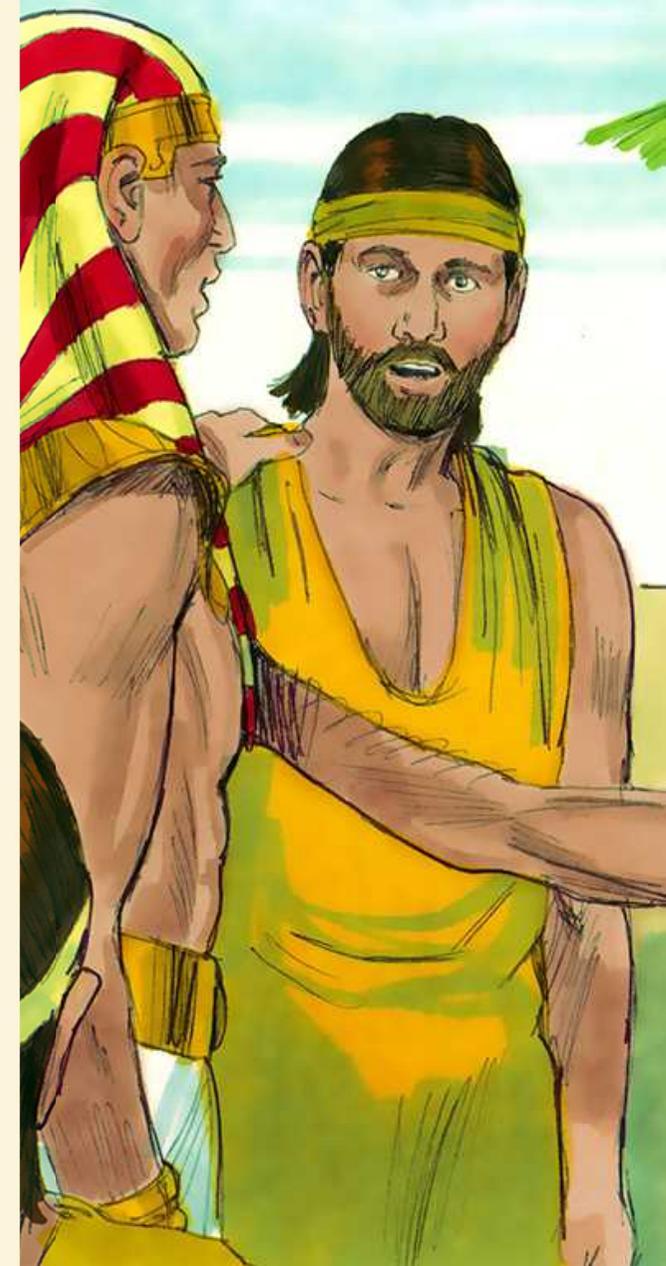
【ユダの覚悟】 創44:30

■ユダは、必死の覚悟で、ヨセフに告げた。

このしもべは私の父に、『もし私があの子をあなたのところに連れ戻さなかったら、私は永久にあなたに対して罪ある者となります』と言って、あの子の保証をしているのです。

ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなたさまの奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと帰らせてください。

あの子が私といっしょでなくて、どうして私は父のところへ帰れましょう。私の父に起こるわざわざを見たくありません。」



IV. 和解

創世記45章



【ヨセフのころ】 創45:1～3

ヨセフは、そばに立っているすべての人の前で、自分を制することができなくなって、「みなを、私のところから出なさい」と叫んだ。ヨセフが兄弟たちに自分のことを明かしたとき、彼のそばに立っている者はだれもいなかった。

しかし、ヨセフが声をあげて泣いたので、エジプト人はそれを聞き、パロの家の者もそれを聞いた。

ヨセフは兄弟たちに言った。

「私はヨセフです。父上はお元気ですか。」

兄弟たちはヨセフを前にして驚きのあまり、答えることができなかった。

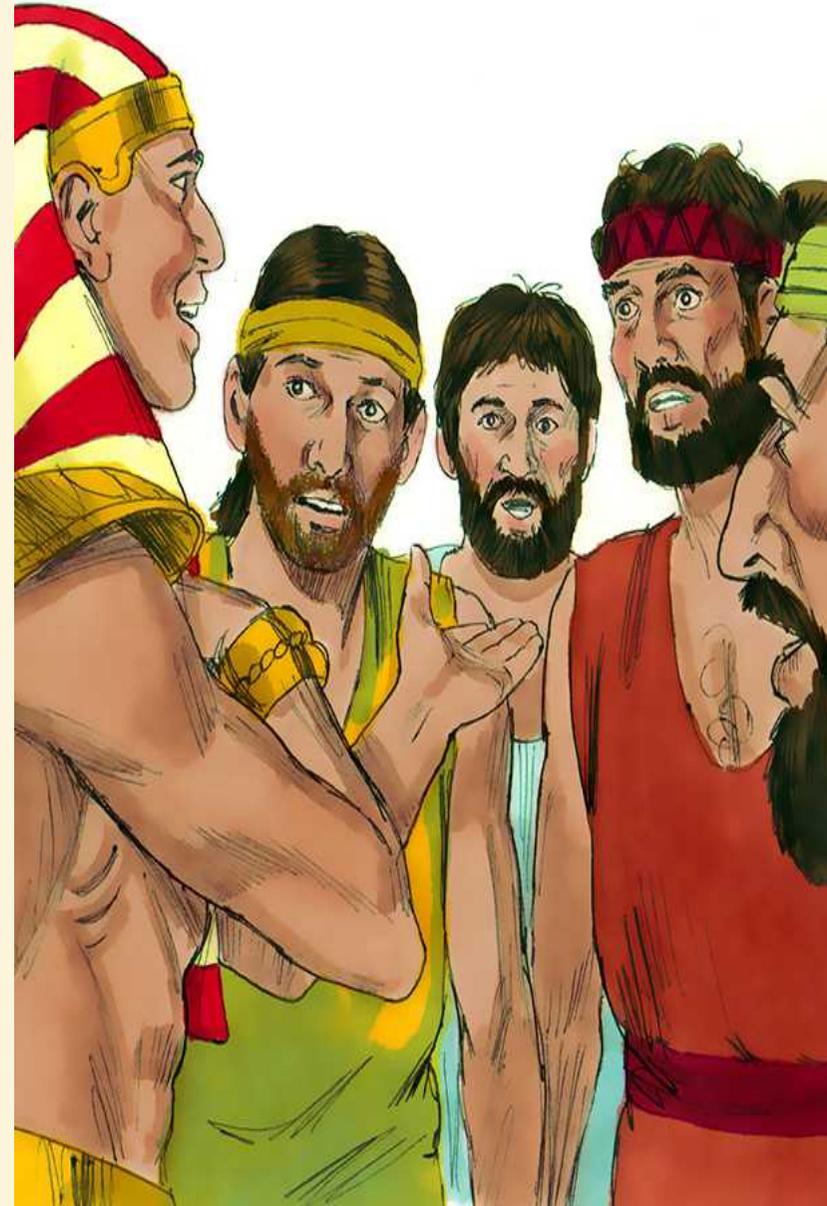


【ヨセフの宣言】 創 45:4

ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近寄ってください。」彼らが近寄ると、ヨセフは言った。「私はあなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです。

今、私をここに売ったことで心を痛めたり、怒ったりしてはなりません。神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わしてくださったのです。

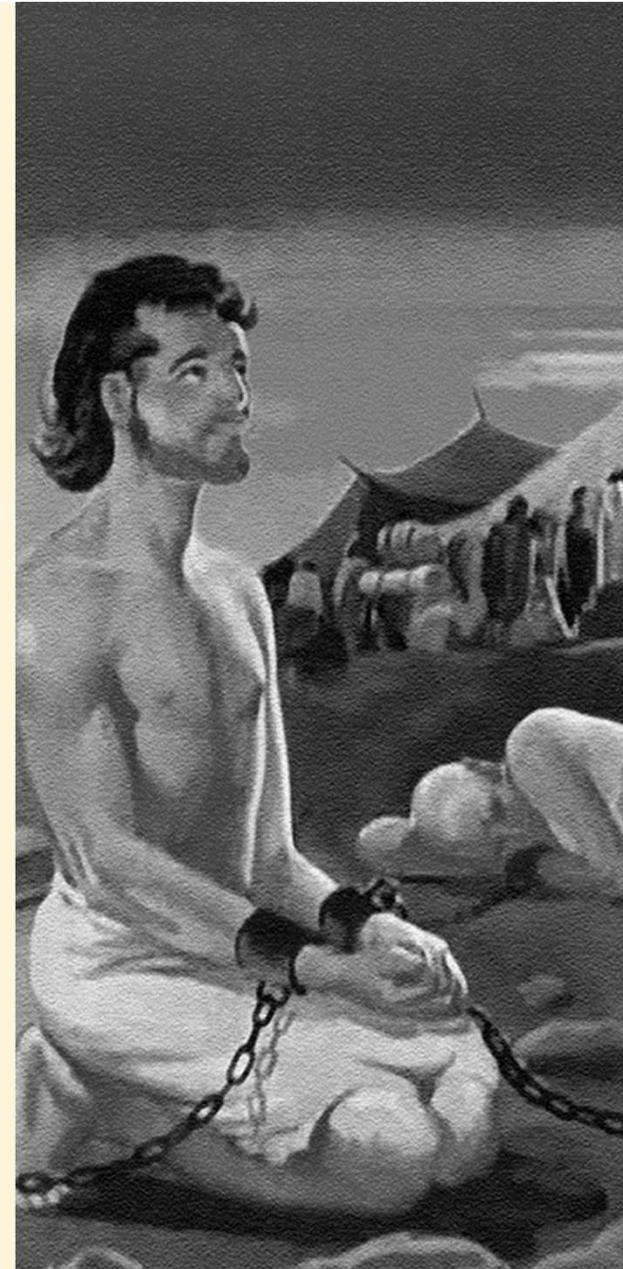
この二年の間、国中にききんがあったが、まだあと五年は耕すことも刈り入れることもないでしょう。



【ヨセフを用いた神の計画】 創 45:7～8

「それで神は私をあなたがたより先にお遣わしになりました。それは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによってあなたがたを生きながらえさせるためだったのです。

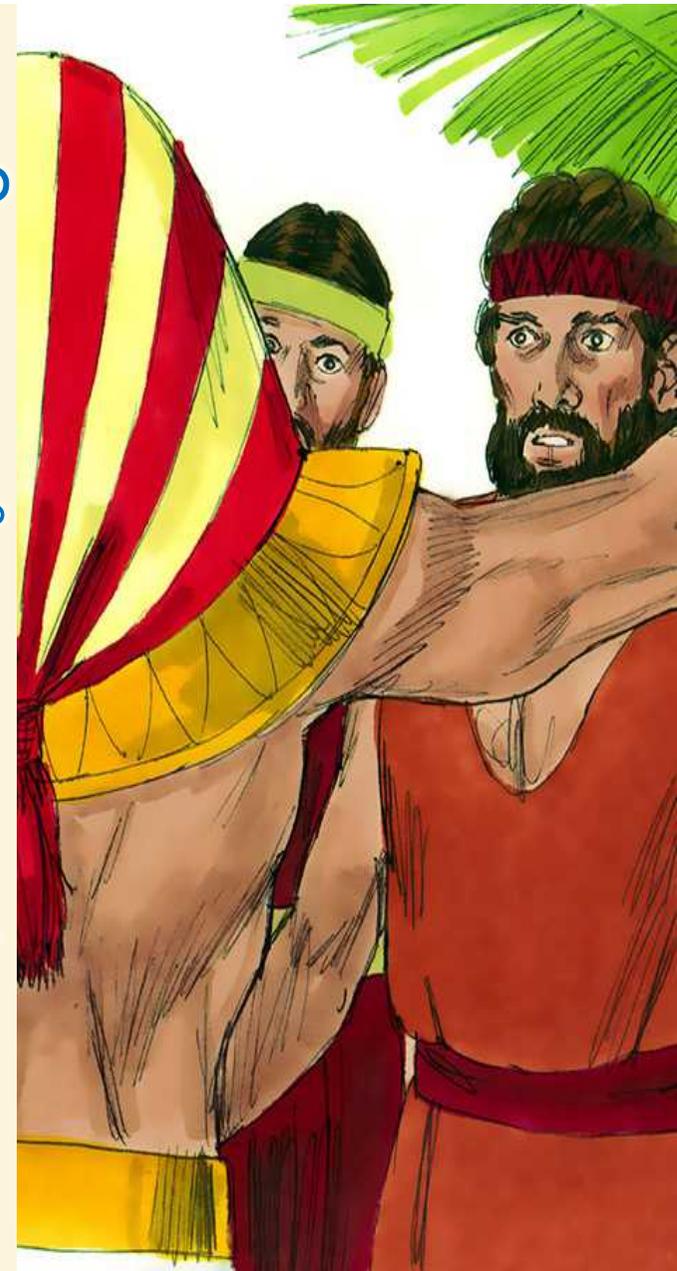
だから、今、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。 神は私をパロには父とし、その全家の主とし、またエジプト全土の統治者とされたのです。」



【アブラハムへの預言が成就する】 創45:9～11

「それで、あなたがたは急いで父上のところに上って行き、言ってください。『あなたの子ヨセフがこう言いました。神は私をエジプト全土の主とされました。ためらわずに私のところに下って来てください。あなたはゴシェンの地に住み、私の近くにいることになります。あなたも、あなたの子と孫、羊と牛、またあなたのものすべて。

ききんはあと五年続きますから、あなたも家族も、また、すべてあなたのものが、困ることのないように、私はあなたをそこで養いましょう』と。」



【和解の抱擁】 創45:12～13

「さあ、あなたがたも、私の弟ベニヤミンも自分の目でしかと見てください。あなたがたに話しているのは、この私の口です。

あなたがたは、エジプトでの私のすべての栄誉とあなたがたが見たいっさいのこととを私の父上に告げ、急いで私の父上をここにお連れしてください。」

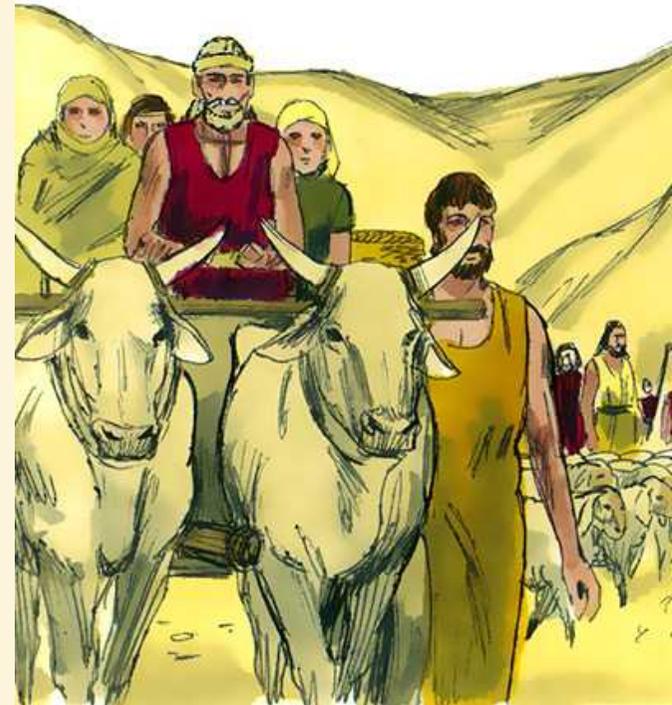
それから、彼は弟ベニヤミンの首を抱いて泣いた。ベニヤミンも彼の首を抱いて泣いた。

彼はまた、すべての兄弟に口づけし、彼らを抱いて泣いた。そのあとで、兄弟たちは彼と語り合った。



【再びカナンへ上る兄たち】 創 45:16～

- ヨセフの兄弟たちの訪問が伝えられ、パロもその家臣たちも喜んだ。
- パロは、ヨセフの家族へエジプト移住をすすめて、最高の待遇を約束した。
- ヨセフは、兄たちに、多くの贈り物を与え、こう言って送り出した。
「途中で言い争わないでください。」
- 兄たちが、互いに責め合うことを、
ヨセフは望んでいなかった。



【驚くばかりの恵みの知らせ】 創 45:26～28

■ 兄たちは、父に告げた。

「ヨセフはまだ生きています。しかもエジプト全土を支配しているのは彼です。」

■ あまりのことに、父は一瞬気が遠くなった。

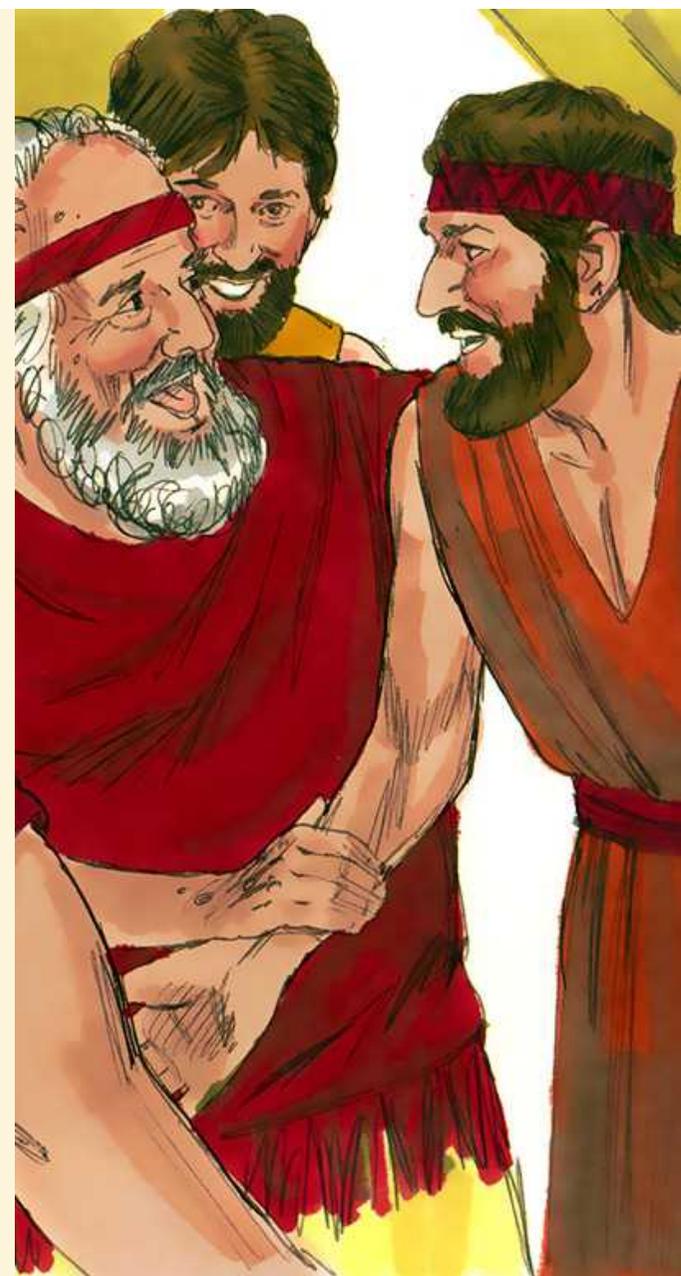
■ 兄たちは詳細を語って聞かせた。ヤコブの前には、確かに贈り物を満載した車が並んでいた。

45:28 イスラエルは言った。

「それで十分だ。私の子ヨセフがまだ生きていれば。私は死なないうちに彼に会いに行こう。」

■ イスラエルは、今こそ神の時だと知った。

先祖アブラハムへの預言は、こうして成就された。



Ⅲ. まとめと適用

罪の赦しと
主にある和解への道



【ヨセフの備え・兄たちへのテスト】

■ 大飢饉への備えをしながら、兄たちとの再会を予期していただろう。

長い間、苦難の意味を問い続け、神からの促しを受け取ったのか。

■ 悔い改めのない者を赦すことはできない。ヨセフは兄たちを試した。

テスト① シメオンをスパイの嫌疑で捕らえ、
ベニヤミンを連れてくるよう命じた。

➡ 兄たちは、父を説得できるのか？ 問われる誠意。

テスト② ベニヤミンを窃盗の容疑で捕らえ、兄たちには放免した。

➡ ヨセフの時のように、弟を見捨てるのか？

【ユダのとりなしが示す、真実の悔い改め】

■ 立ち上がったのは、四男ユダだった。

■ ヨセフを奴隷に売り渡そうと言い出した、あのユダは、
カナンの地で墮落し、罪を犯し、確かに悔い改めたのだろう。

■ ユダは、一言も言い訳はしなかった。

ただ、哀れみを乞い、何よりも父の悲しみと嘆きを代弁した。

■ そして、自らの命を犠牲にして、

父の愛する弟ベニヤミンを父のもとへ返してほしいと懇願した。

【ヨセフの物語を、兄たちの視点から読み解く】

- ヨセフ自身の内面の葛藤や思いは、ほとんど何も記されていない。
時に不条理に怒り、主に訴え、困惑し、何度も涙を流しただろう。
あの苦難の義人ヨブのような苦悩を、ヨセフも味わったことだろう。
- ヨセフ物語の中心には、悔い改めた罪人ユダが置かれている。
弟を嫉妬から売り、罪の極みに墮し、悔い改めた一人の男。
立ち返ったユダに、自らの命をも厭わない義を神は帯びさせられた。

【ヨセフに投影されたメシアの幻】

- ヨセフ自身の罪や葛藤が、ほとんど何も記されていないのは、彼の生涯そのものが、キリストの型(影)だから。
- 無実のヨセフが獄中から、首相へと引き上げられたように、罪なきキリストは、私たちの罪のために十字架につけられ、死んで葬られ、よみに下り、死を打ち破って復活された。
- 主イエスが、私たち一人一人を試しておられる。人生の試練の中で、世の不条理のただ中で、自らの罪に気が付いて、主の前に立ち返ることができるかを。
- 悔い改め、福音を信じ、主イエスに信頼した者は、すべての罪を赦され、主の永遠の和解の食卓に招かれている。主の恵みを確かに受け取り、味わっていこう。主が共におられる。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

ユダのように、主(しゅ)の前(まえ)に 自(みずか)らの罪(つみ)を悔(く)い改(あらた)め、あなたの途方(とほう)もない恵(めぐ)みを、しっかりと 受(う)け取(と)っていくことができますように。

混沌(こんとん)の時代(じだい)のただ中(なか)で、
変(か)わらぬ主(しゅ)の愛(あい)に 生(い)きていくものと、
わたしたちを 導(みちび)いてください。

主(しゅ)イエス・キリストの 御名(みな)によって 祈(いの)ります。

アーメン」